

令和6年度 第6回学校運営協議会

令和6年2月6日（木）10:00 会議室

司会：教頭

- 1 会長あいさつ
- 2 校長あいさつ
- 3 授業参観（10：15～10：40）【教頭】
- 4 前回会議録確認【尾白】
- 5 議長の選出
- 6 熟議（10：45～11：30）【進行：議長】
 - （1）来年度の学校経営方針【校長】
 - （2）学校運営協議会自己評価【教頭】
- 7 報告
 - ・夢育やらまいか事業（CS 加算分）の使用について【教頭】
 - ・生活ボランティアについて
 - ・学習ボランティアについて
 - ・屋上庭園について
- 8 連絡事項
 - ・卒業証書授与式の出欠席について
 - ・入学式の出欠席について
 - ・その他

今後の日程（予定）

令和7年度 第1回学校運営協議会 5月9日（金） 9：00～

第6回 学校運営協議会名簿

学校運営協議会委員

会長	田中 基生
副会長	シムキュマン
委員	井嶋 吉廣
委員	齋藤 良夫
委員	内藤 明子
委員	今井 孝
委員	稲葉 大輔
委員	山内あけみ
委員	幅 あけみ
委員 (CSコーディネーター)	伊藤 真弓

オブザーバー

入野協働センター	徳増 宏之
----------	-------

学校支援コーディネーター

荻 哲也
今明 真理

学校

校長	戸嶋 秀樹
教頭	大澤真一郎
教務主任 CS担当教職員	竹内由里子
CSディレクター	尾白 栄子

浜松市教育委員会

教育総務課	鈴木 陽子
-------	-------

令和6年度 第5回 学校運営協議会 会議録 (要点記録)

- 1 開催日時 令和6年12月16日(月)
- 2 開催場所 大平台小学校 会議室
- 3 出席委員 井嶋 吉廣、齋藤 良夫、内藤 明子、田中 基生
稲葉 大輔、山内 あけみ、幅 あけみ、伊藤 真弓
- 4 欠席委員 シム キュマン、今井 孝
- 5 学校支援コーディネーター 今明 真理
- 6 学 校 戸嶋 秀樹(校長)、大澤 真一郎(教頭)、竹内 由里子(教務主任)
尾白 栄子(CSディレクター)
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 尾白 栄子
- 9 議長の選出

司会から議長の選出について委員に意見を求めたところ、内藤委員を推挙する旨の発言があり、全員意義なくこれを承認した。

10 協議事項

- (1) 学校に関するアンケートについて
- (2) 学校関係者評価について

11 会議記録

大澤教頭から、委員総数の過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 学校に関するアンケートについて

竹内教務主任から、別紙資料に基づき、学校に関するアンケートについて説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・7月の協議会での熟議内容は、次年度からなのか、今年度の2学期から反映されているのか？

…内藤委員

・夏の協議会以降、教員内で情報共有をし、今年度2学期から取り組んできたことも踏まえてのアンケート結果となる。かかわろう・やってみよう・見つめよう・つなげようの4つの言葉のねらいを学習・教育活動に取り入れて行ってきた。見つめよう(課題解決能力)については、子供も保護者も勉強ができるかできないかでの評価をしていることもある。市の指定校として授業改善を行い、教科に広げてきたが、評価のための質問をもう少しはっきりさせる必要がある。

…戸嶋校長

- ・夏の参観でも感じたが、1・2年と5・6年では差があると感じる。見つめようでは、1・2年では難しく思うことも5・6年では十分理解できていると思う。

…幅委員

- ・高学年は、授業も行事も自分たちで前向きに取り組む様子が見られる。低・中学年には、「見つめよう」から「かんがえよう」といったわかりやすい言葉にかえることも考えている。

…戸嶋校長

- ・一番の目指したいことは生きる力であり、どんな状況でも対応できる能力を身につけてほしいと思うが、それを目指すために大切なことはたくさんある。

…田中委員

- ・大きく目指すもの为目标にポイントを絞り、国の指針や浜松市の方針を踏まえた教育活動の中で、必要な力を身につけさせていきたい。

…戸嶋校長

- ・アンケートを通して、大平台の子供たちは全体的にみんな元気で明るいと感じる。児童全体の学校で、かかわろうが93%と高い数値がでていることはすごいと思う。先生たちは、日々の仕事に追われ大変と思うがより自信をもってほしいと思う。先生の自信が子供たちに伝わる。

…幅委員

- ・アンケートをした後のフォローが大切だと思う。結果からの気づきがある。

…伊藤委員

・見つめようでは気づくこと、つなげようでは解決する力が大事で、どこで自分がつまずいているかに気づくと次の行動につながると思う。子供の時から知らないことを自覚したり、気づくことを意識したりすることの繰り返しによって、キャリア形成が進化すると思う。気づいていることを自覚させて行動につなげてほしい。

…稲葉委員

・教育活動で、先生が子供の気づきを自覚させることに重点をおいて取り組みたい。

…戸嶋校長

(2) 学校関係者評価について

○成果・課題・改善方策について

・寒くなると手をポケットに入れて登校する子供が多く、校門そばにくると手を出す子供もいる。顧問と授業の様子を見たが、授業を落ち着いて聞いている様子が見られた。

…齋藤委員

・PTAに関わり、3年になるが、以前より先生方に落ち着きやゆとりを感じる。

…田中委員

・教室や階段がきれいに清掃されている。掲示されている子供たちの絵画や書写のレベルが高い。

…今明コード・イーター

・授業を見ていると子供たちは落ち着いて学習に取り組んでいると感じる。高学年は自分たちから取り組む様子が見られた。表面的に何もないようだが、子供たちの間では何かあることもあるので、先生たちには注意してほしい。

…内藤委員

・心の日に心ノートを使い、自分を見つめたり、友人とのコミュニケーションを考えたりする時間をとっている。先生が子供たちのトラブルに対応する件数は、昨年度よりも減っている。

…戸嶋校長

・家庭で身につけてほしいことを学校で行っていると感じる。

…内藤委員

・校長室が子供たちの逃げ場になっている。校長先生が必ず声をかけてくれている。挨拶をしない子供が多くいると思う。

…田中委員

・挨拶運動では、挨拶をする子供は半分くらいいる。

…内藤委員

・挨拶をしない子供でも毎日声をかけていると挨拶をする子供もいる。

…齋藤委員

・トイレがとてもきれいに清掃されている。他校にも行くことがあるが、大平台小はとてもきれいに思う。

…田中委員

・地域のボランティアに大平台小出身の子供が多く参加している。

…齋藤委員

○いじめについて

大澤教頭から、別紙資料に基づき、いじめ防止対策基本方針について説明があり、以下の発言があった。

・いじめの重大事案について、細かく把握することが大切と思う。いじめの件数、重大な事態を共有してもよいのではないか？

…稲葉委員

・件数については次回に報告する。相手が嫌だと思えば、いじめとして数えるため件数はあがっているが、重大案件は今のところない。

…戸嶋校長

12 連絡事項

○生活ボランティアについて

・11月25日、12月3日学習ボランティアの方に説明会を行い、12月5、6、10日授業見学をした。来年度からのスケジュールを検討している。年明けに図書ボランティアの方にも声かけを予定している。

…今明コード・イーター

・学習ボランティアの方は慣れていることもあり、積極的に取り組んでいただけている。意見を聞きながら、今後の方針を決めたい。

…内藤委員

○学習ボランティアについて

・12月23、24日9～11時で冬休み勉強会を予定し、4名のボランティアが参加する。12月16、17、18日の5時間目に生活ボランティアを予定している。

…今明コード・イーター

○屋上庭園について

- ・さなる幼稚園の児童が来校し、5年生とチューリップの球根を植えた。
- ・がれき等の片づけに関わっていきたい。

…大澤教頭

…伊藤委員

○CSコーディネーター研修について

大澤教頭から、別紙資料に基づきCSコーディネーター研修の報告があった。

○次回の日程、実施、自己評価について

大澤教頭から、別紙資料に基づき、次回の自己評価について説明があった。

13 次回の議長の選出について

田中会長から次回の議長について内藤委員を推挙する旨の発言があり、全員意義なくこれを承認した。

今後の日程 第6回学校運営協議会 2月6日(木) 10:00～12:00

令和7年度 大平台小学校 学校経営方針

【学校教育目標】

未来を切り拓く わかばの子

【教育をめぐる現状】

超スマート社会（society5.0）の実現に向け、先端技術が高度化して社会の在り方そのものが劇的に変化し、予測が困難な時代となっている。アフターコロナの学校の在り方については次第に落ち着きが見られてきているが、未来に向けた持続可能な諸活動の在り方が依然問われていることから、まだまだ学校教育をめぐる状況は大きな変化のうねりの中にあると言える。国は、個別最適な学びと協働的な学びの実現を図る「令和の日本型学校教育」を目指し、35人学級やGIGAスクール構想の具現を進めてきた。浜松市では、新たに始動となる第4次浜松市教育総合計画において、「自分らしさ、協働、主体性、自己調整、粘り強さ」をキーワードとした目指す子供像を設定している。

【地域の実態】

大平台は、浜松市中心から西方6kmほど離れた三方原台地の南端、佐鳴湖西岸に位置し、古くから「太平」と呼ばれていた。佐鳴湖西岸の開発の折、西岸遺跡群（大平遺跡、明善遺跡など）が発見された。これら遺跡群は、縄文時代から弥生・古墳・奈良・平安・中世時代のもので、古墳時代には多くの集落が成立し中世以降には、畑作として利用されることが多かった。現在は、佐鳴湖西岸土地区画整理事業によって開発され、緑あふれる町並みとともに新興住宅地として発展途上にある。

本校は、平成17年4月に開校し20年が経過、昨年度、20周年の記念行事を開催した。これまで、学校や地域の様々な行事に協働体制を基本として取り組んできたことにより、自治会、地域諸団体との協力、信頼関係が構築されてきた。新しく開発された地域であるため核家族家庭が多いが、学校の教育活動には協力的であり、地域を学ぶ学習や行事を通して、地域の学校として根付きつつある。

【児童の実態】

開校時の平成17年度は児童数537名、16学級であったが、その後児童数が加速度的に増え、平成22年度には児童数823名、25学級となった。それ以降児童数は、少しずつ減少してきている。

子供たちは、家庭環境や教育環境に恵まれ、明るく素直で活動的である。学力は比較的高く、ほとんどの子供は基本的な生活習慣が身に付いている。穏やかな性格で優しい子が多く、任されたことは真面目に取り組み、自分の目標に向かっ

て努力することができる。その反面、自分で判断して行動することや自分で課題を見つけて粘り強く追究することを苦手とする子供が少なくない。体を動かすことや外遊びについては進んで行う子と避ける子の二極化が見られる。

発達に課題をもつ子供や集団に適應できない子供は年々増えている。外国につながる子供についても全体の6%ほど在籍していて、母語や日本語の獲得が不十分なため、サポーターによる学習支援や個別指導を行っているが、特に国語科や算数科の基礎学力の定着には課題がある。そのため、令和3年度より放課後ボランティアによる個別指導を行っている。

【目指す子供の姿】

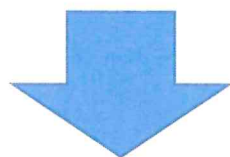
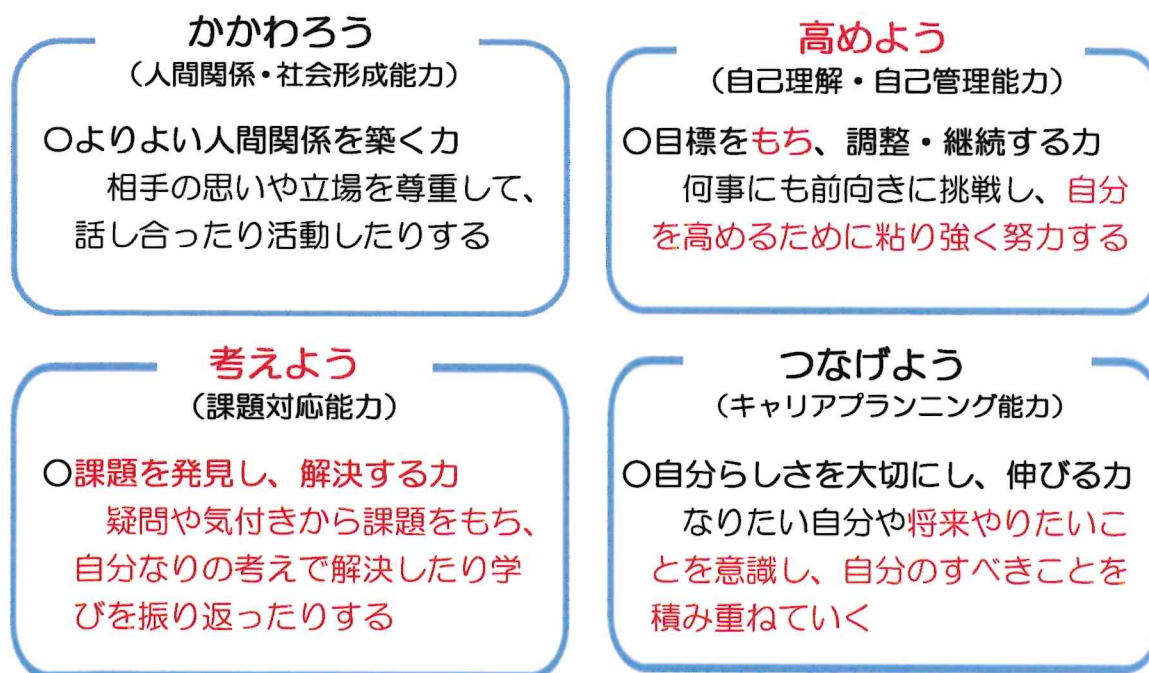
教育をめぐる現状と地域や児童の実態を踏まえ、令和4年度より学校教育目標を「未来を切り拓く わかばの子」とした。自分のよさや可能性を発揮し、他者と協働しながら社会の変化と向き合い、主体的に人生を切り拓き、未来の創り手となる子供の育成を目指している。

『知』…学ぶ喜びを実感し、主体的・協働的に学び続ける子

『徳』…関わり合う中で自ら考え、判断し、行動できる子

『体』…心身の健康の保持増進を目指して実践できる子

【子供たちに身に付けさせたい力とキーワード】



【令和7年度 目指す学校の姿】

- 子供たちが、「よりよく」伸びようとしている
- 保護者・地域からの信頼と協力が得られている
- 教員がウェルビーイングな働き方をしている

【自分がよりよく】

- ・ 自分がすべきことに前向きに取り組み、着実に行動する力を高めたい
→ 身の回りのこと、自分の役割、授業や家庭学習、学校行事…
→ 「選択」を意識…どちらが自分のため？
- ・ 自分にとって必要なことを自分で考え、決める力を高めたい
→ めあて、目標設定、励ましや価値付け（多目標は危険）など
→ どの場面で設定？、形式的にならない、気になる児童は必ずチェック

【共によりよく】

- ・ 「相手の思いを考えよう」という気持ちを育てたい
→ 心の日、道徳、特活、SST、人間関係プロ、いじめ・トラブル対応
→ 先生の考えや気持ちを伝える ふわふわ言葉、チクチク言葉の意識
- ・ 上級生、下級生が互いに思いやる気持ちを育てたい
→ 縦割り清掃、わかば遊び、異学年交流など
→ 6年生（高学年）への労い、適切な指導 下級生の態度を価値付け

【学びでよりよく】

- ・ 「選ぶ」と「協働」による学びについて、さらに考えたい
→ R4・5の総合、生活、R6の教科研修を基盤に
→ 従来の授業にとらわれない挑戦的取り組みを
- ・ 子供が意欲的に学び、自分の伸びを実感できる学習を目指したい
→ まとめや振り返りの在り方、次単元への導入
→ 教材や導入でのひと工夫、子供の取り組みの価値付け

（低学年）やってみたい → やってよかった！のスパイラルを狙う
（中学年）自分のため → 自分向上の価値を高め、意識化を図る
（高学年）あえてやる → 頑張る、努力って大切だと実感させる

【よりよく伸びる土台、温かい学級づくり】

- ・ 確実な子供理解と信頼関係づくり
→ 「〇〇先生なら安心だ！」と思わせたい
→ 思いを聞き、理解を示す 褒め言葉と「ありがとう」をたくさん
- ・ どの子も居場所があり、互いに認め合う雰囲気づくり
→ 「このクラス好き！」と思わせたい
→ 役割や出番があり認められる 先生が全員を大事にする姿を見せる

【職員・職員集団も「よりよく」】

〔本校職員としての基本的な在り方〕

◎子供も人、教師も人、人と人

- ・教員の都合で子供の気持ちを軽く扱わないよう意識する
- ・子供も先生がどんな「人」かを見えています

○教育のプロとしての自覚をもっている

- ・私たちの指導・支援が子供の人間形成、社会自立へとつながっている
- ・保護者や地域の方々を「さすが!」と思わせる

○自分を振り返る意識をもっている

- ・教室ではただ一人の大人、自分が全て正解とは限らない
- ・子供たちにとって一番身近な社会人（言葉、服装、立ち居振る舞い）

○知識と技能を学び続ける意欲をもっている

- ・自分のため、子供たちのために自分を高める
- ・職員相互で学び合い、高め合う

〔本校職員の具体的な心得〕

○子供の思いに共感し、親身になって子供に寄り添う

○自分のよさ、強みを積極的に発揮して学校運営に参画する

○同僚個々のよさをリスペクトし、チームワークを大切にする

○保護者や地域の方々と良好な人間関係を築き、信頼を得る

○危機意識のアンテナを張り、未然防止、早期発見に努める

〔健康的で、心にゆとりのある職員集団づくりのために〕

○自分の人生を大切にしている働き方ができていますか

→今だけではなく、自分の〇年後を見つめましょう（健康、家族、仕事）

○笑顔と明るい挨拶ができていますか（子供、保護者、来客、職員間）

→笑顔と張りが与える安心感が信頼になっていきます

○互いの気付きを伝え合う職員関係ができていますか

→よいことはよい、よくないことはよくないと伝え合いましょう

○何事も「チーム大平台小」で対応できていますか

→どんなことも皆で共有し、相談する習慣を皆でつけていきましょう



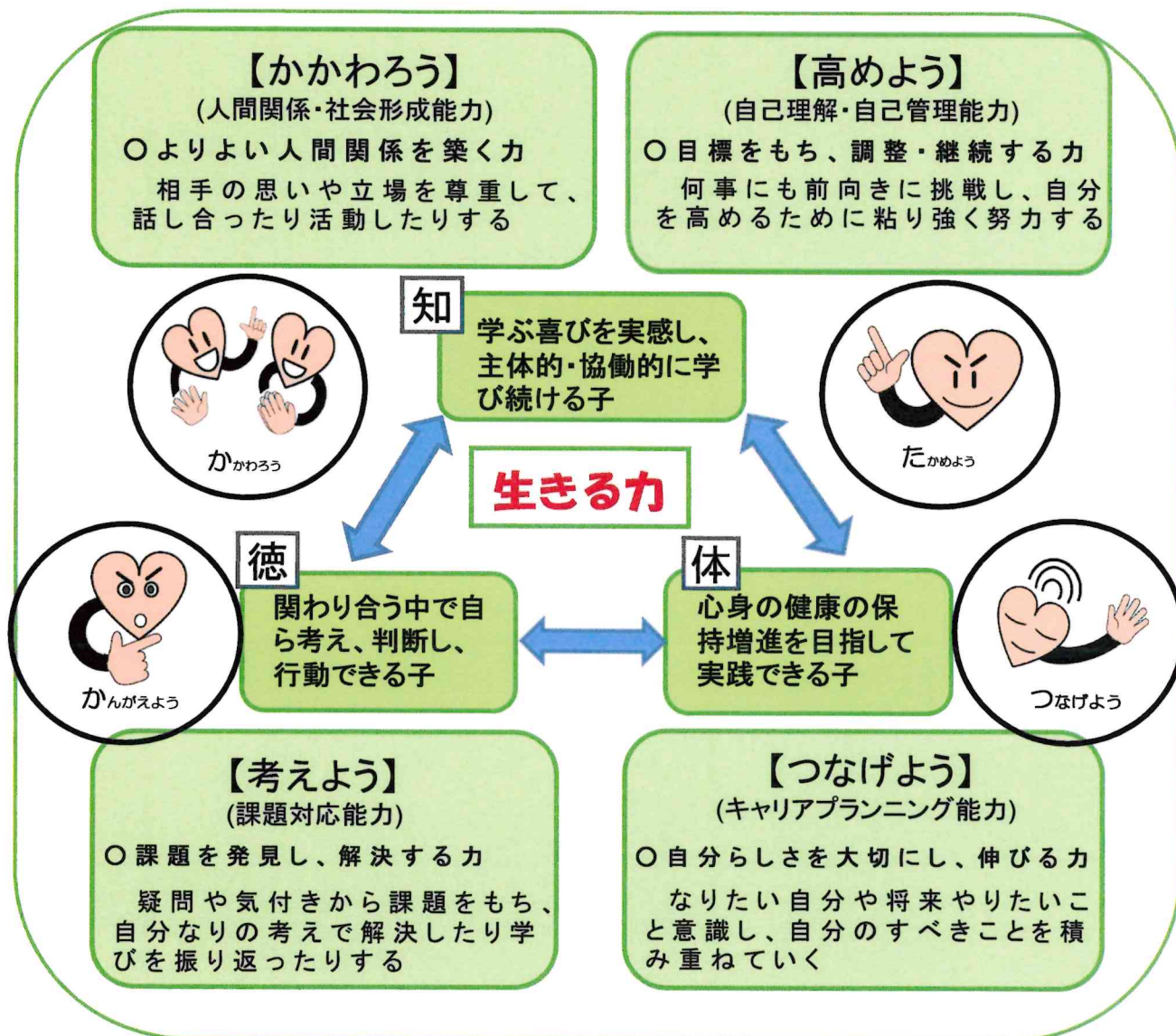
学校教育目標

未来を切り拓く わかばの子

【第4次浜松市教育総合計画】
描く夢や未来の実現
自分らしさ・協働・自己調整



【入野中学校区目指す子供の姿】
夢に向かってたくましく生きる子供



互いを認め合う温かい学級 子供の心に寄り添う生徒指導

発達支援教育の理念

地域から信頼され、地域に根ざし、地域とともに歩む学校
わかばの子 学校応援団 (CS学校運営協議会)



(様式1)

令和6年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(大平台小)学校運営協議会長

＜本年度の目標＞

- 放課後学習支援を来年度も充実させたい。
- 屋上庭園も新たな目標をもって取り組みたい。
- 今年度、給食ボランティア、環境整備のサポートボランティアを行っていく。さらに、クラスで困っている子を支援する生活ボランティアの導入を進めていくために協議していきたい。

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

＜評価項目4＞ 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

【 熟議チェックシート 】 委員長 ()

できている もう少し

評価項目 1			校長の説明を聞いて、分からない用語や疑問に感じたことを質問し、それに対して理解・納得できる回答が得られた。
			基本方針の承認にあたり、校長の説明を聞き置くだけでなく、よりよい学校運営のために建設的な意見を発言できた。
			学校教育目標や学校運営の基本方針についての内容を理解し、共有した。
			学校評価などの評価結果を生かした改善について確認した。
			学校運営について、率直に意見を述べることができた。
評価項目 2			学校の教育目標と学校支援活動とのつながりを意識して、協議会で協議を重ねた。
			熟議の結果、学校、家庭、地域がそれぞれ実行すべきこと、役割分担が明確になった。
			これまで行われてきた学校支援活動についても、教育目標とのつながりや学校、家庭、地域の役割分担を考え、見直すことができた。
			協議会で決定し、実施した学校支援活動について、振り返りや反省を行った。

(様式1)

令和6年4月26日

浜松市立大平台小学校
夢をはぐくむ学校づくり推進協議会
代表 今井 孝 様

浜松市立大平台小学校運営協議会
会長 田中 基生

夢育やらまいか事業に対する意見書

令和6年4月19日に開催した学校運営協議会において、下記の意見を議決しましたので報告します。

記

1 学校運営の基本方針を具現化するための意見

- ①屋上庭園を中心とした校内環境の改善を図るため、花壇を整備すべきである。
⇒花壇を整備する委員会を設置したり、地域のボランティアの協力を得たりして、栽培活動を活性化していく。
- ②学力の定着が不十分な子、集中できない子、自主学習を苦手としている子への手立てを講じるべきである。
⇒学習ボランティアを募集して、学習時に寄り添って支援したり、学習の見届けをしたりしてもらう。
⇒集中して学習したり、一人学びをしたりできるように学習環境を整える。
⇒講師を招くことで魅力ある授業を行い、子供たちが意欲的に学習に参加できるような機会を作る。
- ③低学年を中心とした生活面で、困り感をもっている子への支援が必要である。
⇒生活ボランティアを募集し、準備や片付けが遅れてしまう子への支援をしたり、教師とともに安全面の見届けをしたりしてもらう。

令和7年2月吉日

保護者の皆様へ

大平台小「生活ボランティア」募集！

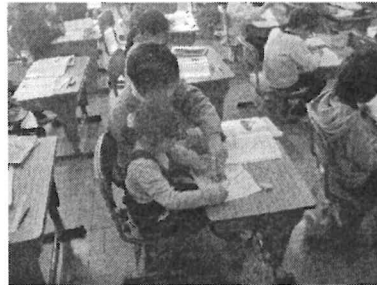
大平台小学校学校運営協議会会長 田中 基生
学校支援コーディネーター 伊藤 真弓

令和7年度より新しく始める活動です。1、2年生を中心に授業や学校生活での子供たちの補助を行う生活ボランティアの募集をします。お忙しい中恐縮ですが、一人でも多くの方にお手伝いいただけたら幸いです。ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。ご参加いただける方はお手数ですが下の申込用紙を記入し、お子さまから担任の先生にお渡しください。よろしくお願いいたします。

活動内容

（1、2年生を中心とした授業での活動補助）

- ・担当していただくクラスの見守り
- ・授業中、活動に困っている子の支援



活動日時

- ・それぞれ都合がつく日時

お問い合わせ先：
浜松市立大平台小学校
竹内（教務）
大澤（教頭）
電話 482-1161



生活ボランティア申込書

氏名（ ）

連絡先（ ）

（ ）年（ ）組 児童名（ ）

担任→教頭まで